

- 「奈良県環境保全型農業推進基本方針」を継承し、堆肥等の施用による土づくりと化学肥料・化学農薬の使用低減、有機農業に加え、温室効果ガスの削減の取組を推進するとともに、県が定める特定農業振興ゾーンを中心に、有機農業の生産振興に取り組む地域を特定区域として設定し、地域ぐるみでの有機農産物の生産拡大を支援する。

【作成主体】奈良県及び県内全39市町村

奈良県、奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、山添村、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

【計画の主な目標】

- ・環境負荷低減事業活動実施計画の認定数：200件（R9）
- ・GAPの指導を受けた農業者数：300名（R7）

【取組のポイント】

- ・「奈良県持続農業指針」に定める土づくり、化学肥料・化学農薬低減技術を導入した生産方式や有機農業の推進
- ・県が定める特定農業振興ゾーンのうち、有機農業の生産振興に取り組む地域における集中的・優先的施策の実施
- ・環境保全型農業・有機農業等に必要な技術開発・普及推進
- ・産地直送販売・地産地消の推進、販路開拓支援

【特定区域の設定】<活動類型：有機農業による生産活動>

- ・天理市高原地区（長滝町・福住町・山田町）
- ・宇陀市大宇陀・榛原地区



【宇陀市】全国に先駆けたオーガニックビレッジ宣言



【天理市】放棄茶園を活用したオーガニック茶の生産